

## 第7波

新型コロナウイルス流行「第7波」は、7月から8月にかけて1日の新規感染者数が20万人を超える日が続きましたが、ここのところ新規感染者の減少が見られています。学校ではまだ「誰かが感染している」毎日が続いています。幸いなことに、重症化する生徒は出ておらず、規定の療養期間が終わると登校できる状態に回復しているようです。



9/2付けで文科省から改めて「換気の徹底及びその効果的な実施」についての通知が来ています。教室であれば、できれば4隅の扉と窓を10cm程度開けることで、かなりの換気効果あるとのこと。いわゆる「エアロゾル感染」への対抗手段は「換気」ですので、生徒の皆さんも効果的な換気への協力をお願いします。

「第7波」では、「行動制限」は求められず、「社会経済活動を維持しつつ、感染拡大に対応する」という方針が貫かれました。したがって、3年ぶりに全国各地で海水浴場が開かれ、花火大会があり、夏祭りも行われました。本校も夏休みの宿泊行事である勉強合宿を再開し、また、オーストラリアケアンズ語学研修旅行に24人が出かけました。両行事ともコロナに感染した生徒は出ずに、無事に行事を貫徹することができました。現在は、学校をコロナ前のレベルにもどす努力の最中にありますが、おそらくコロナ前への模索を続ける中で、新たなことが生まれていくこともあるでしょう。そして、その新たなことの積み重ねが藤嶺藤沢の進化発展につながるのだと考えています。

## サルスベリ(百日紅)

暑い真夏に咲く花というと、ムクゲ(木槿)、フヨウ(芙蓉)、ノウゼンカズラ(凌霄花)、そしてサルスベリ(百日紅)が代表的でしょうか。そのサルスベリですが、拙寺(鎌倉市西御門来迎寺)には大木たいぼくと言えるものがあります。去年は「植えてある場所が悪く、大木を養うには少し土が足りないようで、葉は茂るのですが残念ながら花はなかなか満開までにはなりません。」と書きましたが、今年は肥料のやり方を工夫したことがよかったのか、現在満開を迎えています。毎日毎日非常にたくさんの落花がありますが、その分また新たに咲きますので、見応えのある満開状態が続いています。非常にいい眺めです。

きらきらと照るや野寺の百日紅 / 学校の昼静かなり百日紅 正岡子規

## 【ある卒業生】

最近ある方から頂いた情報で、本校を平成7年度に卒業した藤山龍造氏が「明治大学教授」に就任していることが判明しました。

氏名 藤山龍造 職格 教授 学位 博士（史学）

最終学歴 慶應義塾大学文学部・慶應義塾大学大学院文学研究科

専攻分野（研究分野） 考古学専攻・人文学・史学・考古学

研究テーマ 先史人類の居住形態と資源開発，考古学的方法の領域横断的な可能性

キーワード 旧石器時代，縄文時代，自然環境，資源開発

大学での主な担当講義 考古学概論，考古学研究法，演習（考古学）など

受験生・学生へのメッセージ 考古学の世界では，昔の人たちが残した物証をじっくりと観察し，シャーロック・ホームズのように当時の姿を推理してゆきます。さあ，私たちと一緒に悠久の時間の旅に出かけてみませんか？

主な著書・論文 『縄文時代の考古学』（第6巻，共著），同成社，2007年

『環境変化と縄文社会の幕開け』（単著），雄山閣，2009年

『移動と流通の縄文社会史』（共著），雄山閣，2010年

出身地 神奈川県

趣味・特技 音楽鑑賞

研究内容 かつて日本列島に暮らした人たちが，身の回りの自然とどのように関わり合ってきたのか，この点に興味を抱いて研究を進めています。最近では，学問の垣根を越えて考古学の方法をいかに活かすのか，あわせて考えているところです。

## 【9月の主な行事予定（高校）】

7	水	高1 修養	新型コロナウイルス「オミクロン株」の感染力は非常に強いです。引き続き感染対策を励行して下さい。
20	火	弁論大会原稿提出締切	
21	水	藤嶺学園慰霊祭（遊行寺本堂／縮小実施／高1代表者参列） 高2 中間試験1週間前	
22	木	総合学習の日 （高1：大学訪問，高2：大学出張講義，高3：普通救命講習Ⅰ）	
26	月	高3 第1回推薦会議，大学入学共通テスト出願開始日	
27	火	高1・3 中間試験1週間前	
28	水	高2 中間試験（～10/1）	